

7月12日Active防災Ⅱの授業に大阪大学宮本匠准教授が来られて2時間にわたり生徒たちに問いかけながら授業をして



いただきました。私が聞かせていただいた場面では税金の使われ方の話の中でふるさと納税について取り上げておられました。その税金が防災に結びついていくには、行政との関わりを考えなくてはなりません。道路・川等を含めた環境整備、道路整備等基本的な部分を担っているのが行政となりますし、道路については、国道、県道、市道によって管轄が違いますので、おやみに問い合わせてもうまいかない場合も出てきます。地元や、市町のことをよく知る必要があります。梅雨最後の大雨は、全国的にも大きな被害をもたらしているようです。この機会に学ぶこともあると思うので、ニュース等関心を持って見ていこうにしましょう。

7月13日には本校野球部が県大会2回戦で県立伊丹高校と対戦しました。持てる力を発揮して欲しいとの思いで見守りました。先発は徳山投手。調子は悪くなさそうでしたが、初回にうまく合わせられ、先制点を奪われました。その後本校も3回、4回



の攻撃で同点、相手のミスうまく突いて2点をリードする展開になりました。しかしながら5回を迎えたところで本校にミスが続き同点にされ、流れを引き寄せたいところでしたが、流れを変えることができずにさらに1点のリードを許して終盤に入りました。途中、雨も激しくなる場面もあり、心配しましたが、徳山投手が粘りを見せ、何とか1点差のまま8回に。ここではスクイズが決まり再び同点となりました。8回からは田川投手がリリーフ。うまく8回の相手の攻撃を抑え、同点のまま最終回に。先頭の中川選手が四球で出塁したのですが、サインがうまく合わず盗塁失敗。次の榎本選手がヒットで出塁し、盗塁を決めて1死2塁のチャンスに満田選手が2塁への内野安打。相手の送球がそれる間に榎本選手がホームを踏み1点リードで最終回の守りにつきました。最後まできっちりと押さえゲームセット。このチームでの公式戦初勝利を大事な場面で収めることができました。試合終了後の校歌が流れる場面では、スタンドも一体となって肩を組みながらの熱唱。試合内容とともに充実感あふれる瞬間でした。試合が終わるとボールボーイとして補助してくれた生徒たちがグラウンド整備で活躍。試合に出場している選手だけでなく、スタンドでの応援や補助に回る生徒たち、保護者、卒業生のおかげで試合ができていたことを改めて感じさせてくれました。そして14日の神戸新聞朝刊には本校の記事が掲載されました。3回戦は強豪東洋大姫路高校と17日13時から姫路球場で行われます。名前負けせずに力を出し切ってくれることを期待しています。(14日現在の感想)



この間にも環境防災科2年生は長田まち歩きに出かけ、地元の方の案内で学びを深め、先進理工類型は神戸学院大学を訪れるなどこの時期でなければできないことに取り組んでいます。14日にはActive防災Ⅰの授業に兵庫県立大学富永良喜特任教授に来ていただきカウンセリングやストレスに関する授業をしていただきました。リラックス方法であったり、自分も周りもストレスをためない伝え方であったり、具体的な例を挙げて説明されていました。災害が起こると被害に遭った方、ボランティアに参加する人、さらには行政として今後のやり方を考えなくてはならない人それぞれに、立場によってかかるストレスは違ってきます。私たち自身も心の持っていく方、伝え方をしっかりと考え行動していかなければならないと感じた次第です。ありがとうございました。



3連休後はよいよ1学期最終週です。振り返りをして休業中の準備をしてください。